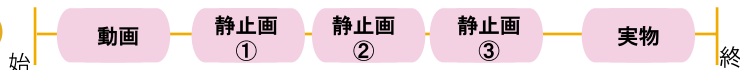


高岡市立中田中学校
筱岡律子

同時進行型



実践テーマ

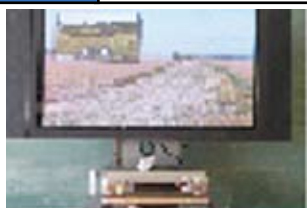
映像や資料をもとに、多面的・多角的に学習課題を追究する。

授業の進め方、デジタルテレビ等活用の仕方

- 導入：アメリカの農業生産風景の映像をデジタルテレビで視聴し、日本との違いを捉えさせる。（興味・関心を高める）
- 展開①：アメリカの農業に関する自作資料を実物投影機で提示し、読み取った内容を話し合わせる。（資料を共有し活用を助ける）
- 展開②：アメリカの主要農産物の栽培地域を自然条件をふまえて予想し、考えを記したノートを実物投影機で提示しながら説明させる。（生徒の言語活動を助ける）

本時の展開

主な学習活動		
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> アメリカの農業生産風景の映像（動画）を見て気付いたことや日本との違いをノートに書く。 互いの意見を自由に出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●NHKデジタル教材「世界の国々 アメリカの産業」
展開	<ul style="list-style-type: none"> アメリカの農業に関する資料（静止画①②③）を読みとり、分かったことをノートに書く。 ：多様な読み取りができる資料を準備する。 ：生徒と対話しながらの机間指導に努め、資料の見方やヒントを与えて支援する。 ペアで対話しながら意見をまとめ、全体で話し合う。 既習の中国の農業、アメリカの自然（地形・気候）を活用して主要作物の栽培地域を予想し、ノート（ワークプリント）に書く（実物）。 友だちの考えを聞き、自分の予想と比較する。 ：既習内容をノート等で確認させる。 ：発表者には根拠を添えて説明させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自作資料（教科書、写真、地図帳） ●自分のノート
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> アメリカの農業を通して、地理の学習の仕方を確認する。 	



アメリカの農業生産風景を提示し、特色を大観する



自作資料を効果的に提示し、読みとりを充実させる



自分のノートを提示しながら根拠を添えて説明させる

生徒の反応・効果

- ・高画質・高音質の映像を利用することでアメリカの農業の様子が臨場感をもって視聴でき、意欲が高まった。
- ・学習課題追究のための〈自作資料〉〈考えを記したノート〉を実物投影機とデジタルテレビをつないで提示することにより「効果的場面での資料提示」「資料の共有化」「考えを分かりやすく表現する」という点で効果があり、生徒の主体的な追究活動の推進や言語活動の充実につながった。

活用のポイント

- ・いつでも効果的な資料や映像が活用できるよう、教師がデジタルテレビ等の機器、教材を使いこなせるようになる必要があると考える。